

7 西 浦 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 青少年健全育成推進協議会準備会

- ① 日 時 平成25年 4月23日(火) 15:30～
- ② 場 所 西浦中学校 図書室
- ③ 参加者 学区5地区総代、小中学校PTA会長・副会長、小学校PTA生活部
中学校PTA補導部、保育園長、保育園父母の会会長・副会長
小中学校校長、小中学校校務主任 総勢30名
- ④ 協議内容 ・経過説明 昨年の西浦地区の健全育成ふれあい活動と課題
・健全育成協議会の開催について 基本方針・活動方針の確認
・ふれあい活動の内容検討 実施日時・場所・役割分担



健全育成準備会



健全育成協議会

(2) 青少年健全育成推進協議会

- ① 日 時 平成25年 5月23日(木) 10:00～12:00
- ② 場 所 西浦町公民館 講堂
- ③ 参加者 学区5地区総代、公民館長、公民館主事、保護司、民生委員
児童委員、少年補導員、地区補導員、更正保護女性会、
子ども会理事、交通安全推進協議会役員、消防団分団長 消防団長
保育園園長 保育園父母の会、児童館館長、少年スポーツリーダー
小中学校PTA会長・役員、小中学校校長・関係職員
<来賓> 青少年センター所長、蒲郡警察署生活安全課長 総数60名
- ④ 内 容
・開会の言葉 協議会副会長 知柄総代 杉山林一郎氏

- ・主催者挨拶 協議会会長 橋田総代 牧原 幹夫氏
- ・来賓挨拶 蒲郡警察署生活安全課課長 岡野 典康氏

・協議・報告事項

ア 基本方針 < 本年度の健全育成スローガン >

「地域・家庭で育てる青少年」

「大きな声で元気にあいさつ、笑顔の絶えない西浦っ子」

イ 活動方針

地域・家庭・学校の連携・協力を深める。

地域みんなで青少年に声をかけ、目をかけ、気をかける。

家庭の教育力を地域で育てる。

ウ ふれあい活動について 事務局

エ スクールガードの活動について 小学校PTA生活部長

- 目的 ・交通事故からの危険防止、不審者対策。
- ・地域、保護者から募ったボランティアが、子どもたちの登下校に付き添い、安全に登下校させる。

○構成員 PTA生活部15名 地域ボランティア25名

○具体的な活動

- ・スクールガードベストを着用して、できる範囲で子どもたちの様子を見守る活動をしていく。

オ PTA見守り隊について 中学校PTA補導部

- 目的 ・西浦地区の青少年の健全育成をはかる。
- ・通学路を点検し、危険箇所の確認をする。

○具体的な活動

- ・中学生の下校に合わせて通学路を巡回する。
- ・定点に立ち、下校途中の中学生に声をかける。

カ 各校園の現状報告 西浦保育園・小学校・中学校

キ ご指導 青少年センター所長 清水 孝夫氏

ク お礼のことば 西浦中学校校長 村越 英昭氏

ケ 閉会のことば 竜田総代 鈴木 勝利氏

2 平成25年度西浦地区「地域ふれあい活動」

(1) 地域ふれあい活動の計画

① 目的

- ・親子、家庭、隣近所の方々が、ふれあいながら防災意識を高め、協力して迅速に避難できるようにする。
- ・地域の方々と楽しく過ごしながら、防災に関する知識を学ぶ。

② 日時

- ・8月25日(日) 8時～11時

③ 活動場所

- ・各総代区の避難所及び西浦中学校

④ 活動内容

- ア 避難する。
- イ 避難名簿の作成をする。
- ウ 防災についての話を聞く。
- エ 防災に関するクイズを楽しむ。

(2) 地域ふれあい活動の実施

① 参加人数

園児8名 小学生39名 中学生122名 大人63名 合計232名

② 活動の実際

ア 避難

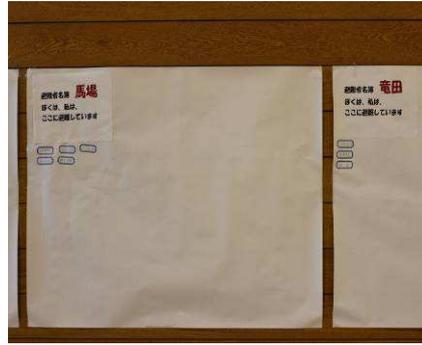
- ・8時に避難訓練開始の放送を流す。
- ・一次避難場所に避難する。
橋田・・・大知柄運動公園 知柄・・・児童公園
竜田・・・児童館 馬場・・・公民館 稲生・・・稲生会館
- ・総代の指示で二次避難所の西浦中学校に移動する。



イ 避難者名簿

- ・体育館前で、名前用のシールを2枚配布する。

- ・シールに名前を書く。
- ・一枚を自分の胸、もう一枚を体育館の壁に貼る。



ウ 防災についての話

- ・安全安心課から講師を招き、防災についての話を聞く。

エ 防災クイズ

- ・小中学生が作った〇×クイズ形式で、簡単な説明をつけ加えた。
- ・PTAの本部役員が中心になって実施した。



(3) 参加者の感想

- ・今年、初めてふれあい活動で「防災訓練」を行いました。地震に対する意識の低かった私にとって、とても良い機会となりました。もし、南海トラフで大きな地震が起きたら、どう動けばよいかよく分かりました。 <3年女子>
- ・DVDを見て、地震はいつ起きてもおかしくない状況だと知りました。そこで、地震に対する準備が大切だと思いました。家具を固定する、非常食を用意するなどしてできる準備はしておきたいと思いました。 <1年男子>
- ・防災に関する〇×クイズは、難しい問題が多く、最後まで勝ち抜けできませんでした。次にこのような機会があれば、しっかり答えられるよう防災について勉強しておきたいと感じました。 <2年男子>

(4) 成果と今後の課題

① 成果

- ・東海地震、東南海地震がいつ起こるか分からない状況であることを意識できた。
- ・大きな地震が起こったときに、どこに、どのような経路で避難すれば良いのか体験できた。
- ・大きな地震が起こることを想定して、どんな備えをしたらよいか分かったし、準備しておこうとする意識が高まった。

② 今後の課題

- ・小学生、地域の人たちがたくさん参加するように考える。